

俳句サロン 令和六年

「夏」 五月～七月



ホタルイカ白エビの刺身春に醉ふ

晴代
雅俊

董風や季に添ふ和菓子銘ゆかし

晴代
雅俊

音もなく飛び交う螢園句う

晴代
雅俊

ででむしやだんだん手間の身ごしらえ

晴代
雅俊

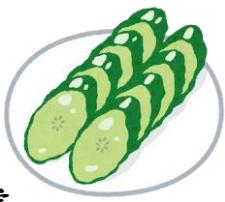
短パンにセル着て風通すなり

晴代
雅俊

寄りひらりおはしきのこと熱帶魚

晴代
雅俊

「秋」 八月



信

にわか雨森林鉄道夏涼し

ややこしき話のあとや胡瓜もみ

晴代
雅俊